

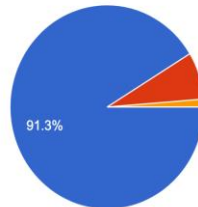
別紙（第 8 号様式「 7 経過と内容」）

事業名	藤沢太鼓まつり
団体名	湘南太鼓研究会えの
1. 事業目的	
和太鼓を通じて市民同士の交流を促進し地域の伝統文化への理解と誇りを育む。また、子供や若者が伝統を学び継承する機会を創出し、次世代の郷土愛と想像力、表現力を育むことを目的とする。	
2. 事業概要	
地元太鼓団体や学校、近隣地域のチームによる演奏披露、体験企画を実施。歴史や自然をテーマとした演目を取り入れ、藤沢市の文化的魅力を発信。世代や国籍を超えた交流を促進し、地域の一体感と観光復興を図る。	
3. 成果目標	
事業を継続して実施することで、年 1 回、150 名が観覧し 50 名が参加する太鼓まつりを定着させる。開催前後に参加者アンケートを実施し、地域文化や和太鼓に関する理解度を 30%以上向上させる。合同練習会を 4 回、ワークショップを 1 回行い、次世代への文化継承と演者同士の連携促進を図る。初年度で地域団体 4 団体の協力を得て、事業継続に向けた地域ネットワークの基盤を形成する。	
4. 成果目標に対する結果	
年 1 回の太鼓まつりを開催し、目標を大幅に上回る 246 名の観覧と 84 名（演者 29 名・WS55 名）の参加を得て、地域行事としての定着を図った。アンケート満足度は 98.3%に達し、「3 歳児から大人まで楽しめる構成」「生の響きの心地よさ」など、和太鼓文化への理解と関心を深める成果を得た。合同練習は効率化を図り 2 回実施、ワークショップ 1 回を通じて 10 代・20 代の参加（11.1%）を含む次世代継承を促進した。初年度から湘南太鼓研究会えの、相州神童太鼓、太鼓集団ふじ、藤嶺学園藤沢和太鼓同好会の 4 団体が参画。さらに江ノ島電鉄（広報）や藤嶺学園（機材）の協力を得て、継続的な地域ネットワークの基盤を強固に構築した。	

5. 実施した事業の内容・時期	
年 月	実施内容
2025 年 8 月	出演予定団体との調整を行い、参加団体を決定
2025 年 9 月	開催会場の確保および開催日程の調整・決定
2025 年 12 月	出演団体間の合同練習日程の調整
2026 年 1 月	フライヤー校了（500 部）、藤沢市役所・市民センター・江ノ電藤沢駅・江ノ島駅にチラシ配架、広報ふじさわ、すぐーる、SNS による広報活動を開始
2026 年 2 月	出演団体による合同曲の練習および神童太鼓との合同練習を実施
2026 年 2 月 28 日	「藤沢太鼓まつり」を開催（4 団体出演、来場者 246 名。和太鼓公演および初心者向けワークショップを実施）。 
2026 年 3 月	来場者アンケートを実施し、事業の満足度や地域文化への関心、今後の継続開催への期待などを把握した。

【来場者アンケート】

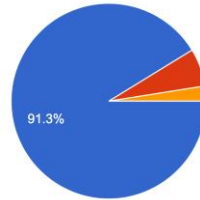
イベントの総合的な満足度
80 件の回答



● とても満足
● 満足
● 普通
● 不満
● とても不満

91.3%が
「とても満足」
と回答

イベントの内容はいかがでしたか
80 件の回答



● とても良い
● 良い
● 普通
● あまり良くない
● 良くなかった

その他、ご意見ご要望ご感想などをお聞かせください

49 件の回答

とても感動しました。個性あふれて素敵でした！

とても迫力があり素晴らしいです。

子供の時からずっと和太鼓に興味があったので、体験させてもらえて大変ありがたい機会でした。一生の思い出になります。日本の伝統文化を誇りに思っています。次世代への伝承をよろしくお願いします😊

久しぶりに叩きましたがとても懐かしかったです。

体験もとても楽しかったし皆さまの演奏にはすごい迫力で圧倒されました！！ぜひひまた企画してください！！心から待っています。若かったら和太鼓やりたかったなあ～～

初めて太鼓を叩けて楽しかったです！

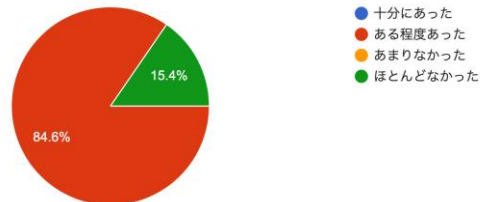
今日は母と一緒に来たのですが、急用で母が来れなくなりました。私は息子2人と母と一緒に和太鼓サークルで太鼓に触れていたのが今日はとても楽しかったです。本当にありがとうございました

音が大きくてびっくりした。たたけて楽しかった。「ドーナツ～」も覚えやすかった。

【参加団体アンケート】

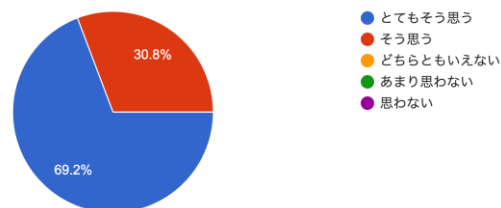
他団体との交流はありましたか？

13 件の回答



今後、合同企画や連携の機会があれば参加したいですか？

13 件の回答



良かった点

8 件の回答

同じ市内で活動していても、ほとんど接点のない他団体の方々とお話が出来ました。団体の運営など参考になることがありました。

ワークショップはとても沢山の参加があり、興味のある人は想像以上に多いことに驚きました。

藤嶺の生徒さんが頑張っているのも良かった。運営など一手に引き受けて下さったえのさんに感謝いたします。

太鼓の体験は子どもから大人まで、幅広い年代の方が参加でき、皆さまが楽しめていたことがとてもよかったと思います。

たくさんの方が楽しんでいただけたところ

役割の中でそれぞれが動けた

普段他の団体との関わりがなかったので、とてもいい機会でした。

他団体との合同開催ということで、見に来てくださった方々にそれぞれの団体の演奏を見ていただけたこと。

他の団体とほぼ交流のなかった我々にとって、非常に貴重な学びと気づきの機会となりました。今後も継続

6. 事業を実施して見えてきた課題

会場は屋内ホールであったため、動線を確保するのが難しく、一部の来場者は混雑により移動や観覧がしづらかった。また、ワークショップには多くの参加者が集まりすぎ、遠慮して参加できなかった大人も多数見られ、体験の機会を十分に提供できなかったことが課題となった。音量については、同施設利用者からクレームが1件あり、全館利用などの音量対策や事前の情報共有が必要であることが分かった。さらに、駐車場は満車となる時間帯があり、来場者への案内や周辺交通への配慮を強化する必要がある。また、運営面では、参加団体がより積極的に関わりやすい体制づくりが求められるなど、運営効率や参加者の満足度を高める改善点も明らかになった。

7. 事業に対する自己評価・感想

本事業を通して、子どもから大人まで幅広い世代の方々に和太鼓の魅力を伝える機会をつくることができた。また、地域の太鼓団体が一堂に会し、同じ舞台を共有することで団体同士の交流が生まれ、今後の地域におけるつながりづくりにもつながったと感じている。

ワークショップでは、初めて太鼓に触れる方が短時間の練習の中で簡単な曲を演奏し、舞台上で発表まで行えたことにより、太鼓の楽しさや達成感を実感してもらえる機会となった。さらに、フィナーレでは出演者だけでなくワークショップ参加者や来場者も加わり、会場全体で太鼓を打ち鳴らすことで、観るだけでなく共に創り上げる祭りの形を実現することができた。

アンケート結果からも、地域文化への関心の高まりや、今後の継続開催を期待する声が多く寄せられており、本事業の意義を実感している。今後は今回の経験を活かし、より多くの人に関わる地域の文化イベントとして発展させていきたい。

8. 3年後に叶えたいミライ（ビジョン・取り組み・成果目標）

【3年後に叶えたいミライ（ビジョン）】

和太鼓の響きを通じて、子どもから高齢者まで多世代が自然に交流し、郷土愛と活力にあふれる藤沢市をつくる。

【成果目標】

・年間イベント来場者数を 300 名以上に拡大・安定化させる。

・次世代（10 代・20 代）の実行委員会への参画人数を現在の 2 倍に増やし、文化継承の体制を強化する。

【目標を達成するための今後の取り組み】

<2026 年度>

①「藤沢太鼓まつり」の運営改善と規模拡大

本事業の来場者アンケートで得られた「会場の混雑」や「駐車場の不足」という意見を踏まえ、想定される参加人数に合わせた適切な会場の検討や、会場レイアウトの見直しを行う。あわせて、近隣施設との連携を強化することで、より円滑な事業運営に努める。

実施回数：1 回/年

目標来場者数：200 名

②「江ノ電沿線・地域連携」の深化

江ノ島電鉄株式会社との協力関係を深め、沿線の活性化に寄与するワークショップやミニパフォーマンスなどの共同企画を検討・実施する。

実施回数：2 回/年

<2027 年度>

①多世代交流を軸とした「太鼓まつり」の自走化

過去の運営ノウハウを活かし、藤嶺学園等の学生ボランティアとの連携をさらに深め、若者が主体となる運営体制を構築して事業を実施する。

実施回数：1 回/年

目標来場者数：300 名

②伝統文化継承プログラムの定例化

これまでのワークショップ参加者の声を反映し、初心者や子どもが継続して太鼓に触れられる定期的な練習会等の事業を定例化する。

実施回数：2 回/年

延べ参加者数：50 名

ミライカナエル活動サポート事業 収支決算書

(収入の部)

費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
ミライカナエル活動サポート事業 補助金・負担金(千円未満切捨て)	50,000	¥50,000	0	
団体拠出金	5,000	12,657	7,657	
合計	¥55,000	¥62,657	¥7,657	

(支出の部)

補助金 充当先	費 目	予算額(a)	決算額(b)	比較(b-a)	摘要
○	会場使用料	10,000	10,800	800	ホール(本番)5000円×1回、第1談話室(男性控室)500円×1回、第2談話室(女性控室)1000円×1回、ホール(リハーサル)2500円×1回、音楽室(合同練習)900×2回
○	車両費	20,000	19,860	-140	2tアルミトラックレンタル17710円×1回、機材車駐車代(本番)850円×1回+1300円×1回
○	印刷製本費	5,000	3,980	-1,020	500部×1種類
○	消耗品費	20,000	28,017	8,017	特注検バチ2300円×10組、機械セッティング料金×1件、梱包輸送料×1件 5,017円
	合計	¥55,000	¥62,657	¥7,657	

※ 収入の部、支出の部の合計が一致するように作成してください。